

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グッドスマイル高知			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 6日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26家庭	(回答者数)	18家庭
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日 ～ 2025年 2月 6日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1 特性の理解・支援		子どもたちの行動について情報収集します。 できた、できないの評価だけでなく、なんでできた、なんでできなかったを大切にしながら、特性に対する支援方法を検討していきます。 またグッドスマイル内だけでなく、学校やご自宅でできるようになることが目標です。 学校やご家庭での環境、また大人の関わり方を共有してもらいながら、どこでもできるように支援方法を検討しています。	職員のスキル向上は欠かせません。研修参加などを通して知識をアップデートしていきます。 情報収集する際のツール（アセスメント表など）を確立し、グッドスマイルとして共通認識とすることで、どの職員でも安定した質の支援を構成できるように取り組みます。
2 コミュニケーション面の支援		気持ちを伝えられないことはなによりつらいことです。 その児童にあった方法で、友だちやまわりの大人たちに思いを伝える練習をしています。 （言葉のコミュニケーションだけでなく、絵カードやジェスチャーなど）	
3 保護者会などの家族支援		保護者参加の行事、勉強会（年金、ペアトレなど）、保護者会（進路相談、保護者同士の交流）、事業所見学（就B、生活介護）を実施し、家族支援にも取り組んでいます。	今後も、ご本人、保護者様の声に耳を傾けながら、放課後等デイサービスとして何ができるか、役割は何だろうかを考えていきたいと思います。 事業所見学は希望に合わせて実施していきます（就Aなども）。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1 運動・感覚面へのアプローチ		施設内の広さ、設備の点から、体を大きく使った活動は苦手分野です。 作業療法士、理学療法士を会社として多く配置しておりますので、限られたスペースでもできる活動、支援を検討しています。	施設内での活動だけでなく、地域の公園、体育館など運動できる場所を活用し、運動面のアプローチ方法を広げていきます。
2 地域参加		地域との交流は、地域の文化祭、販売会、避難訓練の参加にとどまっています。子ども同士の交流にもつなげていきたいと考えています。	施設外の活動、行事に取り組みます。 温泉や果物狩り、ボウリングなどに取り組んでいますが、本人たちの希望を聞き取り活動の場を広げていきたいです。